

Contents

はじめに

第1章

公衆衛生看護学概論

1 公衆衛生看護学とは

1 公衆衛生看護学の概念

1 予防と公衆衛生看護 4

(1) 予防の概念 (2) ウィンズロウによる公衆衛生の定義 (3) 公衆衛生看護の定義と役割

2 公衆衛生看護活動とは 6

(1) 地域とコミュニティ (2) 保健師と公衆衛生看護活動

3 地域保健活動の場と対象 8

(1) 生活 (2) 家族 (3) 集団 (4) 環境

4 健康とは何か 12

(1) WHOの定義と日本国憲法第25条 (2) 近代化がもたらした「公衆衛生」と「健康」の概念 (3) 現代の「健康」の概念 (4) 生活の質

2 ヘルスプロモーション

1 プライマリヘルスケア 14

(1) アルマアタ宣言 (2) プライマリヘルスケアの理念

2 ヘルスプロモーションと「健康日本21」 15

(1) オタワ憲章とジャカルタ宣言 (2) ヘルスプロモーションの理念と戦略 (3) ヘルスプロモーション戦略のグローバル化 (4) 「健康日本21」にみるヘルスプロモーションの理念 (5) 「健康日本21」の成果

3 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 18

4 ヘルスプロモーションを支えるキーワード 19

(1) パートナリシップと住民参加 (2) アドボカシーと権利擁護 (3) 自立支援・自己決定

3 公衆衛生看護の歴史

1 公衆衛生看護の始まり 22

2 わが国の公衆衛生看護の始まり 23

(1) 訪問看護から始まった公衆衛生看護の活動 (2) 公設産婆による訪問看護活動の始まり (3) 関東大震災を機に拡大したわが国の公衆衛生

看護活動

3 わが国特有の公衆衛生看護活動体制の礎 24

(1) 公的機関による母子保健対策 (2) 東京、聖路加国際病院における公衆衛生看護活動 (3) 大阪朝日新聞社会事業団公衆衛生訪問婦協会の活動 (4) 農村における公衆衛生看護活動

4 保健婦の業務の確立 26

(1) 保健所法制定 (2) 厚生省設置 (3) 保健婦規則制定 (4) 保健婦業務の確立

5 第二次世界大戦後の公衆衛生看護活動 28

(1) 保健婦助産婦看護婦法制定 (2) 保健婦の配置と活動の体制——保健所における保健婦活動 (3) 保健婦の配置と活動の体制——国民健康保険保健婦 (4) 保健婦の配置と活動の体制——駐在保健婦 (5) 保健婦の配置と活動の体制——開拓保健婦

6 経済発展期における公衆衛生看護活動 29

(1) 保健所と市町村における保健婦活動の体制確立と充実 (2) 健康問題の変化と保健婦活動——感染症対策から成人病対策へ健康問題の変遷 (3) 老人保健法と保健婦の活動 (4) 地域保健法と保健婦の活動 (5) ライフステージに対応した公衆衛生看護活動 (6) 広範な分野にわたる公衆衛生看護活動

7 高齢社会と国際化社会における保健師の活動 35

(1) 新たな保健師活動への指針 (2) 国際化と保健師活動

8 保健師教育の歴史 38

(1) 萌芽期の保健師教育 (2) 保健婦規則制定後から第二次世界大戦終戦までの保健婦教育 (3) 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則制定後の保健婦教育 (4) 1年制の公立保健婦養成所を中心とした保健婦養成の時代 (5) 大学での教育が多くなった保健師教育 (6) これからの保健師教育

4 医療経済と保健活動

1 医療経済からの視点 44

(1) ひとつの財としての保健医療 (2) 保健医療サービスにおける需要 (3) 保健医療サービスにおける供給

2 保健活動と医療経済 45

3 費用対効果分析 45

4 費用便益分析 46

5	政策評価	47
6	国民医療費の動向	48
5	保健医療福祉システム	
1	衛生行政制度	51
	(1) 一般衛生行政の組織と活動 (2) 産業保健行政 (労働衛生行政) (3) 学校保健行政 (4) 環境保健行政	
2	社会保障制度	56
	(1) わが国における社会保障制度の体系 (2) 社会保障の内容 (3) 社会保障の方法	
3	公衆衛生看護と法体系	59
	(1) 地域保健に関するおもな法律	
II	地域保健の活動	
1	保健師と公衆衛生看護活動	
1	公衆衛生看護活動の視点	61
2	保健師の活動モデル	61
2	公衆衛生看護活動の場、活動内容、方法	
1	保健師の活動の場の拡大	63
2	保健師による公衆衛生看護活動	64
	(1) 一次予防、二次予防、三次予防 (2) 活動の施策化 (3) 保健師業務の内訳	
3	保健師の活動の対象は個人・家族、 集団そして地域全体	66
3	保健師が行う保健指導	
1	目的・対象	67
2	特徴	68
	(1) 人々の生活の場で行われる (2) 多様な保健事業のなかで、体系的かつ組織的に行われる (3) 相談の方法や教育的方法など、多様な方法を用いて指導を行う (4) 人々が自らの意思で行動変容を起こすような指導方法を用いる (5) 公衆衛生看護の知識と技術を基盤にした指導を行う	
3	保健指導の方法と選定	69
4	保健行動と保健活動	
1	保健行動とは	72
	(1) 保健行動の定義 (2) 保健行動のとらえ方	
2	保健行動を支援する保健活動とは	72
	(1) 行動に着目する意義 (2) 行動変容アプローチの基本姿勢 (3) 行動に関する基本的な理論 (4) 行動技法	
3	保健行動に関する理論	75
	(1) 保健信念モデル(ヘルスブリーフモデル) (2) 計画的行動理論 (3) 社会的学習理論(社会的認知理論) (4) トランスセオレティカルモデル(行動変容ステージモデル)	
4	保健行動の変容を支援するために	79

- (1) 良い関係性・コミュニケーションを保つ
- (2) 対象者の状態に応じたコミュニケーションをする
- (3) 問題解決のアプローチを用いる
- (4) 人間の意思決定の特性を知る
- (5) 行動変容を促す多様な方法

5 社会環境の変化と健康課題

1	社会情勢の変遷	86
	(1) 人口構造の変化 (2) 死因と疾病構造の変化 (3) 経済・産業構造の変化 (4) 女性の社会参加 (5) 地域社会の変化 (6) 多文化共生社会・グローバル化と保健師活動	
2	生活と健康	95
	(1) 結婚観・家庭観の変化 (2) 家族形態の変化 (3) 働き方の多様化 (4) 生活環境(公害・環境汚染) (5) 社会病理	

第2章

地域保健活動のエLEMENT

I 地域保健活動過程と保健師活動

1 地域診断

1	地域診断の概念	103
	(1) 地域診断の定義 (2) 保健師が地域保健活動過程を実践する意義と目的	
2	地域保健活動の概観	104
3	地域保健活動に用いる理論と方法	105
	(1) 活用可能な理論 (2) 地域アセスメント項目 (3) 情報収集の方法	
4	情報の分析	115
	(1) 分析の意義 (2) 対象集団の把握 (3) 優先順位を決定するための視点 (4) 抽出した問題における要因の分析	

2 疫学概論

1	疫学がなぜ公衆衛生看護に必要なか	124
	(1) 疫学の定義 (2) 疫学モデル (3) 疫学的因果関係 (4) 因果関係を推定する5条件	
2	疫学の指標	126
	(1) 人口統計学的指標 (2) 比と比率と率 (3) 罹患率と死亡率 (4) 死亡率の調整(標準化) (5) 有病率	
3	疫学調査法	129
	(1) 曝露効果 (2) 調査手法の分類	
4	スクリーニング	133
	(1) スクリーニング基準と精度管理	
5	疫学と地域保健活動	134

3 活動・事業計画と保健師の役割

1 地域保健活動計画	136
(1) 地域保健活動計画の意義 (2) 計画のための合意形成	
2 地域保健活動計画の作成	137
(1) 活動計画作成の過程 (2) 計画の根拠と目標の明確化 (3) 活動内容・方法の選定 (4) マンパワーと予算の確保 (5) 評価計画の作成	
3 地域保健活動計画のモニタリング・評価	140
(1) 関係者との連絡・調整、計画の周知 (2) 事業の運営・モニタリング (3) 事業の評価 (4) 経済的評価 (5) 活動計画・事業計画と保健師の役割	

4 地方自治体における計画策定・施策化

1 保健福祉政策と保健師の役割	143
2 地方自治体とは	143
(1) 地方自治体の区分 (2) 都道府県と市町村の関係 (3) 地方自治体の住民	
3 地方自治体における保健計画	144
(1) 地域保健計画の位置づけ (2) 保健事業計画と保健師の役割 (3) 計画策定のプロセス (4) 計画策定への住民参加の促進 (5) 保健施策と環境整備のための連携 (6) 保健計画の評価 [事例] 計画策定の実践例	

II 地域におけるグループ支援・地域組織活動

1 地域におけるグループ・地域組織の概要

1 グループ・地域組織とは	152
2 地域にあるグループ・地域組織の概要	152

2 グループ・地域組織活動に用いる理論

1 グループダイナミクス	153
(1) 定義・背景 (2) グループダイナミクスの3要素 (3) グループダイナミクスの力動的関係性の3つの特徴	
2 セルフヘルプグループ	154
(1) セルフヘルプグループとは (2) セルフヘルプグループの特徴 (3) セルフヘルプグループの機能 (4) セルフヘルプグループと専門職の関係性	
3 コミュニティ・オーガニゼーション	155

III 地域ケアシステム

1 地域ケアシステム概論

1 地域ケアシステムの理念・目的	157
2 保健師と地域ケアシステム	157
3 地域ケアシステムの構築方法	158

(1) 住民の健康問題とニーズ把握 (2) 目標設定 (3) ヘルスケアチームづくり (4) グループ化 (5) ネットワークづくり (6) システムづくり	
--	--

4 地域ケアシステムの評価と改善

(1) 目標設定の評価 (2) 方法の評価 (3) 効果の評価	
---------------------------------	--

5 地域ケアシステムの発展過程

(1) 形成期 (2) 展開期 (3) 充実期	
-------------------------	--

2 地域ケアシステムにおけるチームワーク

1 住民関係者とのパートナーシップ

(1) ケア会議の意義 (2) 会議の準備 (3) 会議の進行と記録	
------------------------------------	--

2 連携会議の開催

(1) ケア会議の意義 (2) 会議の準備 (3) 会議の進行と記録	
------------------------------------	--

第3章

地域保健活動のツール

I 家庭訪問

1 家庭訪問の目的・対象・技術

1 目的・特性

(1) 保健師が行う家庭訪問の意義 (2) 家庭訪問を行う意義	168
---------------------------------	-----

2 家庭訪問の対象

(1) 対象者やその家族への生活支援を目的とした家庭訪問 (2) 健康危機管理のための家庭訪問 (3) 地域住民の健康問題解決を支援する家庭訪問	171
--	-----

3 家庭訪問の技術

(1) 初回訪問 (2) 継続訪問 (3) 拒否等への対応	171
-------------------------------	-----

2 家庭訪問のプロセス

1 生活の場における情報収集と問題把握

(1) 生活の場における情報収集と問題把握	172
-----------------------	-----

2 対象選定と優先順位

(1) 事故や疾病発症による危険が対象者および周囲の人々に及ぶ場合 (2) 健康問題の深刻化が予測される場合 (3) 家族の力量が弱い場合やキーパーソンが不在の場合	172
--	-----

3 訪問計画——訪問準備・実践

(1) 訪問計画 (2) 訪問準備 (3) 実践	173
--------------------------	-----

4 訪問記録・報告

(1) 記録の目的 (2) 記録の内容 (3) 記録票の保管 (4) 報告	176
---------------------------------------	-----

5 評価

(1) 評価	177
--------	-----

6 関係機関・職種や地域住民組織との連携、社会資源

(1) 関係機関・職種や地域住民組織との連携、社会資源	178
-----------------------------	-----

II 健康相談	
1 健康相談の目的・対象・方法	
1 目的・対象	181
(1) 目的 (2) 対象 (3) 健康相談の事業	
2 方法と特徴	181
(1) 健康相談の契機 (2) 健康相談の方法・特徴	
2 健康相談のプロセス	
1 信頼関係の構築と情報収集	184
(1) 信頼関係の構築 (2) 情報収集 (3) 相談内容と対象者の意思の明確化	
2 アセスメントと記録	185
(1) アセスメントと支援 (2) 記録	
3 健康相談の企画・実施・評価	
1 企画	186
(1) ニーズ把握 (2) 目的の明確化 (3) 目標の設定 (4) 予算	
2 実施	186
3 評価	187
4 健康相談から地域活動への展開	187
III 健康教育	
1 健康教育の目的・対象・技術	
1 目的・対象	188
(1) 目的 (2) 対象	
2 健康教育に用いる基礎理論	188
(1) KAP モデル (2) 保健信念モデル (ヘルスビリーフモデル) (3) プリシード・フレームワーク (4) プリシード・プロシードモデル (5) 社会学習理論と自己効力感	
2 健康教育のプロセス	
1 健康教育の目標設定	191
2 健康教育と健康学習	192
(1) 主体的な学習を援助する教育 (2) 地域保健活動における健康教育	
3 健康教育の方法	
1 企画書	193
2 企画時の検討項目	193
(1) 目標・内容・方法 (2) 対象者 (3) 日時 (4) 場所 (5) 周知方法 (6) 関係者・関係機関 (7) 予算 (8) 評価方法 (9) 期待される効果と事業の継続性の予測	
4 健康教育の実施	
1 実施のための計画書の作成	195
2 会場の設定	195
3 健康教育の媒体	196
5 健康教育の評価	
1 プロセス評価・影響評価・成果評価	198
2 健康教育の評価の方法	199
IV 健康診査	
1 健康診査の定義・意義	
1 健康診査の定義	200
2 健康診査の意義	200
2 健康診査・検診の対象・方法	
1 おもな健康診査・検診	200
2 健康診査・検診の方法	201
(1) 個別健康診査と集団健康診査 (実施形態による分類) (2) 直営による運営と委託による運営 (運営方法による分類)	
3 健康診査の展開過程と保健師の役割	
1 健康診査の企画・立案	202
(1) アセスメント (2) 計画策定	
2 健康診査の参加勧奨・実施準備	202
(1) 参加勧奨 (2) 実施準備	
3 健康診査の実施	204
(1) 問診 (2) 計測 (3) 健康相談 (4) 事後カンファレンス (5) 全体を通しての留意事項	
4 健康診査のフォローアップ	205
(1) 健康診査受診者へのフォローアップ (2) 健康診査未受診者へのフォローアップ	
5 健康診査の評価と地域保健活動への反映	206
4 健康診査を展開するうえでのその他の留意点	
1 情報管理	207
2 安全への配慮	207
3 検査 (スクリーニング) の精度管理	208
5 今後の健康診査の方向性	208
V グループ支援・地域組織活動	
1 グループの支援	
1 グループ支援の意義	209
2 本人・家族の健康の維持・増進を主目的としたグループの特徴 (アセスメント項目)	209
(1) 参加者 (2) グループの構造・機能 (3) 関係者 (4) 地域・行政との関係性	
3 保健師のグループ支援の特徴と留意点	211
4 グループの特徴をふまえた保健師のグループへのかかわりや支援	212
(1) グループの成り立ちに応じた支援 (2) 発展	

段階に応じた支援 (3) リーダーシップ・メンバーシップに応じた支援

5	グループ支援の評価	214
(1)	グループに所属する個人に対する評価	
(2)	グループの変化の評価	

2 地域組織活動

1	地域組織活動の定義	215
(1)	地域組織活動の定義 (2) 地域組織活動の意義 (3) 地域組織の種類と特徴 (4) 地域組織活動の展開プロセス	
2	地域組織活動における保健師活動	217
(1)	地域組織の主体性や凝集性を高める保健師の活動 (2) 地域組織の発展段階・課題や力量をふまえた育成	
3	地域組織に対する保健師の基本姿勢	218

第4章

地域保健の対象アプローチ

I 発達段階と保健活動

1	個人および家族の発達段階と保健活動	
1	各発達段階における課題	223
(1)	ハヴィガーストの発達理論 (2) エリクソンの自我発達理論	
2	ライフサイクルの6段階と保健活動	225
(1)	乳幼児期 (2) 学童期 (3) 思春期 (4) 青年期 (5) 成人期 (6) 老年期	
2	家族の理解	
1	家族システム理論	228
2	家族ストレス対処理論	228
3	家族アセスメント	229
3	家族の発達段階と保健活動	
1	家族の発達段階と課題	230
(1)	家族の発達段階 (2) 家族の発達課題と健康課題	
2	家族の発達段階と保健師活動	231
(1)	婚前期 (2) 新婚期 (3) 養育期 (4) 教育期 (5) 排出期 (6) 老年期 (7) 孤老期	

II 母子保健活動

1	母子保健概論	
1	母子保健の理念	234
2	母子保健活動の変遷	234
(1)	妊産婦・乳幼児死亡率の高い時代の母子保健	
(2)	戦後の母子保健 (3) 少子化時代の母子保健	

2 母子保健施策

1	保健指導	238
(1)	妊娠の届出と母子健康手帳交付 (2) 妊産婦・乳幼児保健指導 (3) 新生児訪問指導 (4) 未熟児訪問指導 (5) 障害児自立支援医療(育成医療) 対象児への相談指導	
2	健康診査	241
(1)	妊婦健康診査 (2) 乳幼児健康診査 (3) 1歳6か月児健康診査 (4) 3歳児健康診査 (5) B型肝炎母子感染防止事業 (6) 先天性代謝異常等検査 (7) 予防接種	
3	遺伝相談	243
(1)	遺伝相談の意義 (2) 遺伝性疾患と出生前検査 (3) 遺伝相談における保健師の役割	
3	母子保健計画	
1	健やか親子21	245
2	子ども・子育て支援新制度と子育て世代包括支援センター	245
3	母子保健にかかわる計画と保健師の役割	247

4 母子保健活動の実践

1	妊産婦の健康と保健指導	248
(1)	ハイリスク妊娠 (2) 出産前の不安 (3) 出産後の不安	
2	乳幼児の健康と保健指導	249
(1)	乳幼児の成長発達と保健指導 (2) 乳幼児の健康課題	
3	生涯を通じた女性の健康支援	253
(1)	女性のライフステージに即した健康支援 (2) 思春期 (3) 成人期 (4) 更年期	
4	児童虐待、ドメスティック・バイオレンス	254
(1)	児童虐待 (2) 児童虐待防止対策 (3) ドメスティック・バイオレンス (4) 家庭内虐待への母子保健の取組み	
5	健康上のリスクをもつ母子への保健指導	
1	育児力の弱い家族への支援	257
2	障害児への支援	257
3	在留外国人母子への支援	258
4	孤立化した母子への支援	259

III 成人保健活動

1	成人保健概論	
1	成人保健の理念	260
2	成人保健の動向	261
(1)	成人保健の関連施策の変遷 (2) 成人保健の現状	

2 成人保健施策	
1 高齢者医療確保法における生活習慣病対策	264
2 健康増進法	264
3 健康日本 21（第二次）の基本的な方向と目標	264
3 成人保健活動の実際	
1 健康増進事業	265
2 成人期における保健師活動	267
(1) 対象者のセルフケア能力の向上（一次予防）	
(2) 健康診査活動等を通じた健康度評価と適切な医療への橋渡し（二次予防）	
(3) 健康障害の進行防止（三次予防）	
(4) ゼロ次予防	
(5) 事業評価と社会資源の整備	
3 特定健康診査・特定保健指導	269
(1) 内臓脂肪型肥満に着目した早期介入・行動変容	
(2) データヘルス計画	
(3) 予防・健康づくりの取組みに対するインセンティブ制度	
(4) 評価	
4 健康づくりと地域ヘルスケアシステム	273
4 成人期のおもな生活習慣病と保健指導	
1 メタボリックシンドローム	274
(1) メタボリックシンドロームとは	
(2) メタボリックシンドロームの保健指導	
2 高血圧	277
(1) 高血圧とは	
(2) 高血圧の保健指導	
3 糖尿病	278
(1) 糖尿病とは	
(2) 糖尿病の保健指導	
4 脂質異常症	280
(1) 脂質異常症（高脂血症）とは	
(2) 脂質異常症の保健指導	
5 骨粗鬆症	281
(1) 骨粗鬆症とは	
(2) 骨粗鬆症の保健指導	
6 悪性新生物	282
(1) 悪性新生物（がん）による死亡の実態	
(2) 悪性新生物（がん）の患者数・罹患率	
(3) がん対策基本法とがん登録の推進と結果の活用	
(4) 悪性新生物（がん）の原因と危険因子	
(5) 悪性新生物（がん）の保健指導	
7 成人期におけるメンタルヘルス	284

IV 高齢者保健活動

1 高齢者保健概論	
1 高齢者保健活動の理念	286
2 高齢者保健医療福祉の変遷	286
(1) 老人福祉法の制定と老人医療費支給制度	
(2) 老人保健法の制定と老人保健施設の創設	
(3) ゴールドプランと新ゴールドプラン	
(4) 介護保	

険制度とゴールドプラン 21：地域包括ケアシステムの推進へ (5) 老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律へ

3 高齢者保健の現状	289
(1) 高齢化の状況	
(2) 高齢者と家族の現状	
(3) 高齢者の生活と経済の状況	

2 高齢者保健施策

1 介護保険制度	290
(1) 市町村における地域支援事業	
(2) 地域包括支援センター	
(3) 地域包括ケアシステム	
(4) 介護保険制度と保健師の役割	
2 後期高齢者医療制度	295

3 高齢者保健活動の実際

1 高齢者の健康と生活特性	296
(1) 高齢者の健康状態	
(2) 高齢者の生活を重視したアセスメントの視点	
(3) 高齢者の健康と生活における支援のポイント	
2 高齢者の疾病予防と地域環境づくり	301
(1) 高齢者のおもな疾病の予防	
(2) 安全で安心して生活できる地域環境づくり	

4 要支援・要介護高齢者および介護者の特性と保健師活動

1 要支援・要介護高齢者と介護者の現状	302
(1) 要支援・要介護者の割合	
(2) 地域包括支援センターと保健師	
(3) 介護する家族への支援	
2 認知症高齢者と家族の特性と保健師活動	303
(1) 認知症の理解	
(2) 認知症高齢者と家族の状況	
(3) 認知症高齢者と家族への支援	
3 高齢者虐待防止と保健師活動	305
(1) 高齢者虐待防止ネットワークの構築	
(2) 高齢者虐待の防止・早期発見のための取組み	
(3) 養護者（家族等）への支援	

V 難病保健活動

1 難病保健概論

1 難病対策のあゆみ	310
(1) 難病保健活動の意義	
(2) 難病対策の変遷	
2 難病保健施策	312
(1) 難病法と指定難病	
(2) 指定難病医療費助成制度	
(3) 調査・研究の推進	
(4) 医療提供体制の構築	
(5) 社会参加のための保健活動	
3 小児慢性特定疾病対策	315
(1) 小児慢性特定疾病医療費助成制度	
4 難病情報センター	316
5 難病対策に関連するその他の法律	316

2 難病療養者・家族の健康と生活

1 対象の理解と保健師活動 317

- (1) 疾病特性と療養経過 (2) 病気の理解と受け入れ (3) 受療に関する課題 (4) 医療処置等の選択に関する課題 (5) 社会生活の変化に関する課題 (6) エンド・オブ・ライフケア

2 おもな疾患と保健師活動 319

- (1) 神経・筋疾患 (2) 消化器系疾患 (3) 免疫系疾患 (4) 骨・関節系疾患 (5) 皮膚・結合組織疾患 (6) 視覚系疾患

3 在宅難病療養者のおもな症状・障害と保健師活動 320

- (1) 呼吸症状・障害 (2) 摂食・嚥下症状・障害 (3) 排泄症状・障害 (4) 運動症状・障害 (5) コミュニケーション障害

4 小児の難病療養者の健康と生活 321

3 難病療養者・家族への保健師活動

1 保健師が行う難病事業 322

2 療養者と家族への個別の保健師活動 323

- (1) 特定医療費(指定難病)支給認定申請時の面接での相談 (2) 家庭訪問による日常生活への支援 (3) 家族支援 (4) 多職種との連携

3 患者会、家族会の育成 324

4 地域ケア体制づくり 325

- (1) 難病療養者支援のネットワークづくり (2) ボランティアの育成

5 難病療養者の安全管理 326

- (1) 医療依存度の高い難病療養者の安全管理 (2) 災害時の対応

VI 障害者(児)保健活動

1 障害者(児)保健概論

1 障害者保健の理念 328

2 障害の概念 329

- (1) 国際障害分類と国際生活機能分類 (2) 障害者の法律上の定義

2 障害者(児)保健施策

1 障害者(児)保健施策の変遷 331

- (1) 戦後の障害者(児)施策 (2) 国連・障害者の10年とノーマライゼーション (3) 障害者基本計画 (4) 障害者総合支援法への経緯

2 障害者(児)保健施策 334

- (1) 障害者(児)のための法律と制度 (2) 障害者(児)施策 (3) 身体障害者施策 (4) 支援費制度から障害者自立支援法へ (5) 障害者総合支援法 (6) 発達障害者支援法

3 障害者(児)の生活特性と自立支援

1 障害者(児)の生活特性 337

- (1) 地域生活支援 (2) 国際生活機能分類(ICF)を基盤にした理解

2 障害児への保健師活動 339

- (1) 障害の予防や受容への支援 (2) 早期発見・早期治療 (3) 障害児・家族への保健活動 (4) グループづくり (5) 地域における保健・医療・福祉、教育のシステムづくり

3 障害者への保健師活動 341

- (1) 原因疾患予防 (2) 自立生活の支援 (3) 就労支援 (4) 障害者を支える人材の育成 (5) 社会参加の促進 (6) 住環境・地域環境整備

4 発達障害 345

- (1) 発達障害者支援法に基づく支援 (2) 発達障害の種類 (3) 発達障害児・者への保健指導上の注意点

VII 精神保健活動

1 精神保健概論

1 心の健康と精神保健福祉 347

- (1) 心の健康とは (2) 精神疾患とは

2 精神保健の基本理念 348

3 精神保健福祉施策の変遷 349

- (1) 精神病患者監護法から入院医療中心の治療体制へ (2) 精神科病院から社会復帰施設へ (3) 社会復帰施設から地域社会へ (4) 地域社会における共生の実現へ (5) 心の健康づくり

4 精神保健に関する施策・制度 352

- (1) 精神保健福祉活動の基盤となる法律 (2) 精神障害者に対する医療 (3) 精神保健福祉に関する機関

2 精神保健福祉活動の実際

1 精神疾患を有する対象の特徴 357

- (1) 精神疾患の特徴 (2) 精神疾患の課題

2 個人・家族を対象とする個別支援 358

- (1) 治療開始に向けた支援 (2) 退院に向けた支援 (3) 治療継続のための支援 (4) 社会復帰のための支援

3 精神保健福祉活動におけるグループ・組織化活動 359

4 地域社会での精神保健福祉活動 360

- (1) ハイリスク者の早期発見 (2) 精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築 (3) 地域における社会資源の創出 (4) 精神障害者の人権を守る精神保健福祉活動

3 地域におけるおもな精神疾患と保健師活動

1 統合失調症 363

2 うつ病 363

3 双極性障害 364

4	若年性認知症	364
5	依存症および嗜癖	365
	(1) アルコール依存症 (2) 薬物依存 (3) 嗜癖	
6	パーソナリティ障害	366

4 社会生活における精神的課題

1	自殺	367
	(1) 自殺関連行動を起こす人への対応	
	(2) 地域、職域、学校における自殺の予防・高リスク者早期発見の活動 (3) 自死遺族へのケア	
2	社会的引きこもり	368

●VIII 感染症保健活動

1 感染症保健概論

1	感染症保健活動の理念・変遷	369
2	感染症法の沿革	369
3	保健活動の基本となる感染症法のポイント	371
	(1) 感染症の類型別の対策 (2) 事前対応型行政の構築 (3) 患者等の人権への配慮	

4	感染症の動向	373
	(1) 感染症発生動向調査 (2) おもな感染症の最近の動向	

5	感染症における疫学的視点	375
	(1) 感染の発生要因 (2) 流行調査	

2 感染症にかかわる保健師活動

1	平常時の活動	377
	(1) 感染症発生動向の把握(サーベイランス) (2) 感染症にかかわる情報の提供・健康教育・相談指導等 (3) 予防接種	

2	感染症発生時の活動	381
	(1) 感染症発生時の対応 (2) 感染症の拡大防止のための指導	

3 おもな感染症と保健師活動

1	HIV 感染症・AIDS、性感染症	383
	(1) HIV 感染症・AIDS (2) 性感染症 (STD)	

2	新興・再興感染症	384
	(1) 新型インフルエンザ (2) 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) (3) エボラ出血熱 (4) 中東呼吸器症候群 (Middle East Respiratory Syndrome: MERS) (5) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) (6) 蚊媒介感染症	

3	ウイルス性肝炎	388
	(1) B 型肝炎 (2) C 型肝炎	

4	麻しん、風しん	388
	(1) 麻しん (2) 風しん	

5	食中毒	389
	(1) 腸管出血性大腸菌感染症 (2) A 型肝炎、E 型	

肝炎

4 結核対策における保健師活動

1	結核発生の動向	391
---	---------	-----

2	患者教育に必要な結核の基礎知識	392
	(1) 感染 (2) 発病 (3) 肺結核のおもな症状と発症時期 (4) 検査方法 (5) 治療	

3	わが国の結核対策	394
	(1) 結核対策のあゆみ (2) 結核対策の概要と保健所の業務 (3) 結核登録者情報システム	

4	早期発見対策の基本——集団的アプローチから個別のアプローチへ	395
	(1) 発病予防：BCG ワクチン接種の徹底と潜在的結核感染症への対応 (2) 早期発見：集団健診から選択的健診(接触者健康診断)	

5	集団感染発生時の対策	398
	(1) 集団感染の定義 (2) どのような場合に集団感染対策を考慮すべきか (3) 接触者健康診断の実施 (4) 結核菌分子疫学調査	

6	結核対策における保健師の役割	402
	(1) 結核対策における保健師の役割 (2) 結核保健指導の基本 (3) 家族の保健指導 (4) 結核の保健師活動の重要性 (5) 初回面接の重要性 (6) 結核統計の見方	

7	日本版 21 世紀型 DOTS 戦略	405
	(1) DOTS 対象者 (2) DOTS 戦略の種類 (3) DOTS カンファレンス (4) 地域 DOTS (5) コホート検討会	

●IX 歯科口腔保健活動

1 歯科口腔保健概論

1	歯科口腔保健の理念	411
---	-----------	-----

2	歯科口腔保健対策の変遷	411
	(1) 対象別歯科保健施策 (2) 総合的な歯科保健施策	

3	歯科口腔保健の現状	413
---	-----------	-----

2 歯科口腔保健における保健師活動

1	生涯を通じた歯科口腔保健活動	415
	(1) 自己管理(セルフケア)能力の向上 (2) 保健・医療の専門家による支援と定期管理(プロフェッショナルケア) (3) 保健所等による情報管理と普及啓発の推進(コミュニティケア)	

2	ライフステージ別歯科口腔保健活動	416
	(1) 妊娠期の歯科口腔保健 (2) 乳幼児期の歯科口腔保健 (3) 学童期の歯科口腔保健 (4) 成人・高齢者の歯科口腔保健	

3	とくに配慮が必要な人に対する歯科口腔保健活動	419
	(1) 要介護者の歯科口腔保健 (2) 障害者(児)に	

第5章 健康危機管理

第6章

生活集団と保健活動

I 健康危機管理

1 健康危機管理の定義と現状

- 1 健康危機管理の定義 423
- 2 健康危機管理の現状 423
- 3 健康危機管理システムと保健所の役割 424
- 4 健康危機管理（リスクマネジメント）の過程 427
 - (1) リスクマネジメントとリスクアセスメント
 - (2) リスクコミュニケーション (3) 事業継続計画 (BCP)
- 5 健康危機管理と保健師活動 428
 - (1) 平常時の備え (2) 健康危機への対応
 - (3) 地域住民への支援

II 災害保健活動

1 災害保健概論

- 1 災害の定義と分類 431
- 2 災害保健活動の目的 431
- 3 災害保健施策 432
 - (1) 災害対策の変遷 (2) 災害発生時の体制づくり (3) 災害に関する社会資源

2 災害と保健師活動

- 1 平常時の災害予防対策と保健師活動 434
 - (1) 地域の実態把握 (2) 住民の把握 (3) 住民への啓発活動 (4) 災害対策マニュアル (5) 教育普及啓発・防災リーダーの育成 (6) 救援・支援ネットワーク
- 2 災害時の保健師活動 438
 - (1) 緊急対策期（フェーズ0・1）の保健師活動
 - (2) 応急対策期（フェーズ2・3）の保健師活動
- 3 災害復旧・復興期の保健師活動 443
 - (1) 復旧・復興対策期（フェーズ4）の保健師活動
 - (2) 復興支援期（フェーズ5-1・5-2）の保健師活動
 - (3) 復旧復興期、復興支援期の特徴的な健康問題と保健師活動
- 4 放射線被曝と健康障害 444
 - (1) 放射線・放射能と単位 (2) 人体への影響
 - (3) 放射線防護について (4) 放射線による汚染地域での保健師活動
- 5 津波と保健師活動 447
 - (1) 津波と災害 (2) 津波被害を受けた住民への

I 学校保健

1 学校保健の理念

- 1 学校保健の定義・目的 453
- 2 学校保健の場と対象 453

2 学校保健の歴史と現状

- 1 学校衛生から学校保健へ 453
- 2 学校保健から学校保健安全へ 454

3 学校保健制度とシステム

- 1 学校保健行政 455
- 2 学校保健組織と人材 455
 - (1) 学校保健委員会 (2) 保健主事・養護教諭・スクールカウンセラー

3 学校保健活動のしくみ 456

- (1) 学校保健計画 (2) 保健教育と保健管理
- (3) 学校給食と食育 (4) 安全管理・危機管理

4 養護教諭の職務内容

- 1 保健室の機能と保健室経営 458
- 2 健康診断と事後措置 459
- 3 健康相談と保健指導 459
- 4 感染症の予防・対策 459
- 5 救急処置 461
- 6 保健教育 462

5 おもな健康課題と養護教諭の活動

- 1 むし歯・近視・肥満 463
- 2 不登校と保健室登校 463
- 3 特別支援教育 464
- 4 いじめ 464
- 5 人工妊娠中絶と性感染症 465
- 6 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 465

6 学校環境衛生

- 1 環境管理 466
- 2 環境教育 466

7	地域保健・産業保健との連携	467	2	ワーク・ライフ・バランス	486
II	産業保健		3	職場における母性保健活動	486
1	産業保健の概念		4	高齢労働者の保健活動	487
1	産業保健の定義・目的	468	5	障害者雇用にともなう保健活動	487
2	産業保健の対象	468	6	小規模事業場への保健活動	487
2	産業保健の変遷		7	外国人労働者への保健活動	488
1	19世紀半ばまでの諸外国	469	8	海外駐在日本人労働者の保健活動	488
2	わが国の労働衛生の変遷	469	9	地域保健との連携	488
3	わが国の産業保健の現状			(1) 地域・職域連携の現状と課題 (2) 地域・職域連携推進協議会の設置	
1	労働力人口と産業構造	471	III	在宅ケア	
2	労働災害、業務上疾病の現状	471	1	在宅ケアの概念	
	(1) 労働災害 (2) 業務上疾病 (3) 健康診断の状況		1	在宅ケアの定義・目的	492
4	産業保健制度とシステム		2	在宅ケアにおける看護職の役割と特性	492
1	労働安全衛生関係法規	472		(1) 保健師の役割・機能 (2) 保健師が行う在宅ケアの特性	
	(1) 労働基準法 (2) 労働安全衛生法 (3) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 (男女雇用機会均等法)		2	在宅ケアの歴史と現状	
2	労働安全に関する制度	474	1	訪問看護制度以前の在宅ケア	493
3	事業場内の安全衛生管理体制と活動	475		(1) 在宅看護の始まり (2) 公衆衛生看護の芽生えと在宅看護 (3) 保健所法制定と在宅看護	
	(1) 労働安全衛生にかかわる人材 (2) 委員会の設置と運営		2	老人保健法制定後の在宅ケア	494
4	地域における産業保健推進支援体制	477		(1) 高齢者の保健・医療・福祉の統合 (2) 訪問看護制度の確立 (3) 介護保険制度下の在宅ケア	
	(1) 産業保健総合支援センター (2) 地域窓口 (地域産業保健センター)		3	在宅ケアの対象と援助	
5	産業活動にともなう健康問題		1	家族	496
1	職業病	478	2	高齢者	496
2	作業関連疾患	478	3	在宅療養中の小児	497
3	過重労働による健康障害	478	4	ターミナル期の療養者	497
4	メンタルヘルス	480	5	難病療養者	497
6	労働安全衛生管理と保健師活動		6	精神障害者	498
1	労働安全衛生管理の基本	481	4	在宅ケア制度とシステム	
2	産業保健における保健師活動	482	1	在宅ケアの関連法規	498
	(1) 産業保健計画と評価 (2) 保健師の活動			(1) 高齢社会対策基本法と高齢社会対策大綱 (2) 介護保険法 (3) 高齢者の医療の確保に関する法律 (高齢者医療確保法) (4) 健康増進法による訪問指導 (5) 医療介護総合確保推進法 (6) その他の関連法規	
3	職域の健康問題と保健指導	483	2	在宅ケア実施機関と職種	500
	(1) 業務に危険をともなう職種への保健指導 (2) デスクワークが中心となる職種への保健指導 (3) 技術革新と効率化が進む職種への保健指導 (4) 対人業務が中心となる職種への保健指導 (5) 過重労働に対する保健指導 (6) メンタルヘルスケアとしての保健指導 (7) ハラスメント対策			(1) 在宅ケア実施機関 (2) その他の関係機関	
7	産業保健の課題		5	在宅ケアマネジメント	
1	トータル・ヘルスプロモーション・プランの推進	485	1	保健師が行う在宅ケアマネジメント	503
			2	在宅ケアマネジメントの内容	503
				(1) 対象者の疾病管理・増悪防止 (2) 介護者への支援・健康管理 (3) 社会資源の活用・開発	

(4) 在宅サービスの調整と施策化 (5) ケアマネジャーおよびサービス提供者への支援

6 在宅ケア管理

- 1 医療福祉サービスとの連携 505
 - (1) 多職種連携 (2) チームアプローチ
- 2 在宅ケアの質の向上 506
 - (1) 自己評価 (2) 第三者評価 (3) 人材育成
 - (4) 資源の整備

第7章

公衆衛生看護管理

I 公衆衛生看護管理

1 公衆衛生看護管理の目的と機能

- 1 公衆衛生看護管理とは 509
- 2 公衆衛生看護活動における管理的機能 509
 - (1) 組織の目的の管理 (2) 働く人の管理
 - (3) 社会的問題の解決に向けた管理
- 3 公衆衛生看護管理の特徴 510

2 公衆衛生看護管理の対象

- 1 組織運営・管理 510
 - (1) 組織の理念・目標の明確化と共有 (2) 組織の構成と指揮命令系統 (3) 他部門との連携・協働
- 2 人事管理 512
 - (1) 採用 (2) 配置 (3) 処遇 (4) 教育(人材育成)
- 3 予算管理 513
 - (1) 予算編成と獲得 (2) 予算の執行管理と評価
- 4 情報管理 514
 - (1) 公衆衛生看護活動にかかわる情報 (2) 個人情報管理 (3) インフォームド・コンセント、情報公開 (4) 保健師に必要な情報管理
- 5 業務管理 516
 - (1) 業務量の管理 (2) 業務計画の管理 (3) 業務委託の管理
- 6 地域ケアの質の管理 517
 - (1) サービスの質の評価・改善 (2) サービスの継続性、包括性の管理 (3) 社会資源の開発と管理
- 7 リスク管理 518
 - (1) 保健師が原因となるリスク (2) 保健師が受けるリスク

3 これからの公衆衛生看護管理

- 1 統括保健師 519

- 2 保健師管理者に求められるもの 519

II 継続教育・専門的自律

1 専門職としての責務と成長

- 1 保健師におけるキャリア発達とは 520
- 2 時代の変化と求められる能力 520
- 3 保健師のキャリアラダー 522
 - (1) 基礎教育期 (2) 新任期 (3) 中堅期
 - (4) 管理期 (5) スペシャリスト(上級実践期)

2 継続教育

- 1 継続教育 523
- 2 現任教育 524
 - (1) 目的と方法 (2) 職場における教育の体制
- 3 大学院への進学 525

3 自己開発と研究

- 1 キャリアにおける自己開発 525
- 2 研究の活用と実践的研究の実施 526

第8章

保健師活動の展望

I 保健師の活動と倫理的問題

1 倫理とは

- 1 実践の場における倫理的問題 529
- 2 規範倫理と道徳 529

2 倫理的意思決定のための方法

- 1 倫理的問題の明確化 530
- 2 事例分析の方法 531

3 保健師活動をめぐる倫理的問題

- 1 個人情報保護と保健師の活動 532
- 2 人を対象とする研究における倫理 533

II 国際保健の現状と課題

1 国際保健とは

- 1 国際保健のためのコンピテンシー 538
- 2 国際保健活動の場 538
- 3 国際保健の使命：格差の改善 539
- 4 国際保健の担い手 541
- 5 持続的開発目標 542
- 6 日本の国際保健：ODA に注目して 543

2	地域活動に役立つグローバルな視点	544
3	国際保健にかかわる保健師活動	
1	▶ 対象国や活動地域を知るための 情報収集	545
2	▶ プライマリヘルスケアの原則	546
3	▶ コミュニケーション能力	546
4	▶ 多様な文化への理解と適応	546

III これからの保健師活動を考える

1	保健師を取り巻く状況	
1	▶ 保健師が輝く時代	547
2	▶ 保健師活動の原点	547
3	▶ 期待される活動内容	548
4	▶ 変貌する行政	548
2	保健師活動の方向性—地域住民主体の日本 型保健師活動の構築を	549

引用・参考文献 550

保健師必携法令集（抜粋）

Index

Column

PDCA か PDSA か—保健事業での活用を考える	後閑 容子	60
施策化とは	後閑 容子	71
地域取材で気をつけること	櫻井 しのぶ	123
訪問かばんのルーツ	守田 孝恵	180
ライフサイクルを通した生涯にわたる 保健師活動	纈纈 朋弥	285
高齢者と喫茶店文化	後閑 容子	309
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の パンデミックと保健師	後閑 容子	410
健康経営の薦め	荒賀 直子	490